

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 農商工連携の促進	② 施策番号	3407
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	3 買物がしやすく人びとの交流の場ともなる、にぎわいと商業のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1 商業・サービスの振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	事業者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	総合交流拠点施設を活用して、農産物、海産物等の地元特産品をPR、周知、販売することにより、地域の産業(農業、水産業、商工業)を活性化させる。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	農業、水産業、商工業において生産、加工、流通を一元化させる6次産業化は、国が進める政策の柱である。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 総合交流拠点施設集客数 計算式:	人	農業、水産業、商工業の総合交流拠点となる本施設の来場者数の増加は、PR力の向上を意味し、それが農商工間の連携に向けた動機づけとなりえる。
② 計算式:		
③ 計算式:		

	指標名	単位	実績					目標		備考
			H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標			
①	総合交流拠点施設集客数	人	目標値	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000		
			実績値	218,896	195,102	181,756	—	—		
			達成率	99.5%	88.7%	82.6%				
②			目標値							
			実績値							
			達成率							
③			目標値							
			実績値							
			達成率							

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方針	
1	総合交流拠点施設関係事業	集客数	人	195,102	181,756	—	1,285	4,459	1,621	B	イ b	◎
2	商工業振興事業	商工会会員数	人	1150	1152	1160	16,638	16,250	18,162	A	ア	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						17,923	20,709	19,783			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	総合交流拠点において、市域の新鮮な農産物、地場の水産物、加工品などを取り扱っており、本施策を推進することによって、にぎわいの創出とまちの活力創造に寄与する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	平成27年度の飲食テナントの入れ替えの際の来場者の減少の影響が未だ回復していない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	農商工連携を適切に促進させるためには、農業、水産業、商工業者との連携は不可欠である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	総合交流拠点は、市域の新鮮な農産物、地場の水産物、加工品などを取り扱っており、本施策を推進する事務事業としては適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	国が進める6次産業化に向けた政策に沿って、地域経済を活性化させるためにも本施策は重点化すべきである。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	A	総合交流拠点の集客力を向上させることが、各産業間の連携と強化を推進することに繋がる。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	本市が有する産業資源の抽出。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	りんくう公園の整備と連動した産業ツーリズムの確立に向けた取組。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	りんくう公園とマッチした産業ツーリズムの確立。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	総合交流拠点施設の開設により適切に取組が実施されている。 集客数については減少の傾向もみられるため、今後のりんくう公園の整備と連動した展開について検討を進められたい。	